

# 骨粗鬆症性骨折を生じた 高齢者の2割が要介護等認定となる -横浜市の医療・介護レセプトデータより-

【背景】骨折は要介護となる原因の一つであり、骨折を防ぐことが介護予防にもつながる

【目的】骨折後にどの程度の高齢者が要介護となるかを明らかにする

【方法】2016年度に骨粗鬆症性骨折を生じた市民のうち、その後1年以内に要介護等認定を受けている割合を調査した

【結果】脆弱性骨折後に要介護等認定を受けた高齢者は20.2%であった

【今後の展望】骨粗鬆症、骨折の予防法を啓発していくとともに、骨折と要介護認定の関連についてさらなる分析を進める

掲載論文: M Odagami, Y Yamamoto, T Chiba, S Nakagami, S Dohmae, Y Suzuki. Twenty percent of Japanese older adults received long-term care needs certification after insufficiency fracture: The first report analyzing the combined medical and nursing claims database. Geriatr Gerontol Int. 2021 Nov;21(11):1062-1063